

# キューR クラウド

## 取扱説明書

(基本操作編)

2021年1月19日 初版

1.	まえがき	3
2.	全体フロー	3
3.	定義ファイルの準備と構造	4
4.	記録モードの違い	5
5.	ファイルアップロード	6
6.	サイドバー表示切り替え	8
7.	定義データの操作（基本編）	9
8.	定義データの操作（応用編）	15
9.	QR コードの発行	20
10.	QR コードの読み取り（スマートフォン）	23
11.	読取データの操作	24
12.	ゲストユーザ管理（有料プラン）	28
13.	QR コードの読み取り（バーコードリーダー）	35
14.	その他	36

## 1. まえがき

キューR クラウドの基本操作方法についてのマニュアルです。

定義ファイルの作り方、ファイルアップロード、データベース操作、QR コードの発行、読み取りまでの基本機能について、本マニュアルにて説明いたします。

## 2. 全体フロー

全体の使い方の流れについて説明します。

- STEP1            エクセルを使って管理したいデータファイルを作成します。
- STEP2            管理目的にそって「更新モード」か「追記モード」を選択します
- STEP3            エクセルファイルをアップロードします
- STEP4            QR コードを発行します
- STEP5            QR コードを読み取ります

読み取った記録をダウンロードしたり、読み込んだデータを編集したりすることが可能になります。

Microsoft Excel を使って管理したいデータファイルのことを「定義ファイル」と呼びます。定義ファイルをアップロードした後のシステム上のデータ画面を「定義リスト」と呼びます。

Microsoft Excel の形式は Excel95 以降の形式に対応します。ただし xlsx などのマクロ機能が含んだファイル取り込みはできません。またシートは 1 番目のみ認識します。2 番目以降のシートはアップロード時に無視されます。

定義ファイルは CSV 形式でも作成できます。CSV ファイルの形式はカンマ区切りとなります。ダブルコーテーションくくりの改行コード入りは非対応となります。

表 1 CSV ファイル形式

書式	カンマ区切り
エンコード	UTF-8 (推奨)、SJIS、EUCJP


文字コードは 3 種類に対応していますが、文字化けリスクを考慮し、可能な限り UTF-8 (BOM なし) でお願いします。

### 3. 定義ファイルの準備と構造

定義ファイルには最低限のルールがあります。


お客様名	日付	金額	通常選択	指定選択	確認	電話番号	時間1	時間2	打刻	機密情報	コメント
水口 礼子	2021-01-10	1000		社員A		09000000001					
竹中 まひる	2021-01-11			社員A		09000000001					
久保田 美帆	2021-01-12			社員B		09000000001					
今 寿明	2021-01-12			社員B		09000000001					
寺尾 茂樹	2021-01-12			社員C		09000000001					
浜 明	2021-01-12			社員C		09000000001					
小出 綾女	2021-01-13			社員A		09000000001					
三宅 豊	2021-01-13			社員A		09000000001					
黄川田 仁	2021-01-13			社員B		09000000001					
須田 一樹	2021-01-13			社員C		09000000001					
木原 宏	2021-01-14			社員A		09000000001					
尾崎 智花	2021-01-14			社員A		09000000001					
寺島 高史	2021-01-14			社員B		09000000001					
塚本 拓郎	2021-01-15			社員B		09000000001					
仲村 雅彦	2021-01-15			社員A		09000000001					
佐竹 剛基	2021-01-15			社員A		09000000001					
伊沢 恵望子	2021-01-15			社員B		09000000001					
服部 草太	2021-01-16			社員A		09000000001					
武田 たまき	2021-01-17			社員A		09000000001					
船田 真子	2021-01-18			社員A		09000000001					

図 1 定義ファイルの基本構造

<ルール 1> 


データの要素名を 1 行目に記載する (ヘッダ列)

データの要素名の情報を 1 行目に記載します。サンプルでは説明上網掛け罫線を記載してありますが、実際は不要です。


<ルール 2> 

2 行目以下にデータを記載します。(データ列)

1 行単位で 1 データとなります。アップロード可能な条件として最低 1 行分のデータが必要になります。(Excel ではヘッダ行とデータ行の最低 2 行必要)

<ルール 3> 

1 列目がデータのタイトルになります。QR コードを画像ファイルで生成する際のファイル名や、データ編集する場合の名称として使用されます。

<ルール 4> 

列は最大 20 要素までの制限があります。21 列以上のデータがある場合はアップロードエラーとなります。

<ルール 5>

プランにより、アップロード可能なデータ数に上限があります。無料プランでは 50 行まで。スタンダードプランでは 500 行までの制限があります。

## 4. 記録モードの違い



図2 メニュー画面

### ・更新モードとは

QRコードを読み込んだ回数だけを記録するモードです。定義リストから生成したQRコードが読み込まれると、対象となるデータに対して読み込み回数が上書き記録されます。

### ・追記モードとは。

QRコードを読み込んだ分だけ対象データを追記で記録するモードです。読み込まれた分だけでデータが増えていきます。利用プランによって、追記できる読み込み回数に制限があります。無料プランは100回まで、スタンダードプランでは2000回まで追記ができます。

### ・一般モードとは（別マニュアルに掲載予定）

オリジナルのQRコードを発行できます。ただしQRコード読み込みには外付けの二次元バーコードリーダーが必要です。詳細は別マニュアルに掲載予定です。

### ・フリーモードとは（別マニュアルに掲載予定）

市販のバーコードやキューRクラウド以外で生成されたバーコード文字情報を追記ができるモードです。詳細は別マニュアルに掲載予定です。

### ・Webモードとは（別マニュアルに掲載予定）

簡易的な表をWebページとして表示できるモードです。

## 5. ファイルアップロード



図3 定義ファイルの取り込み（アップロード）

作成した定義ファイルは、利用用途に合わせて、更新モード、追記モードのいずれかから「新規登録（ファイルインポート）」にて行います。

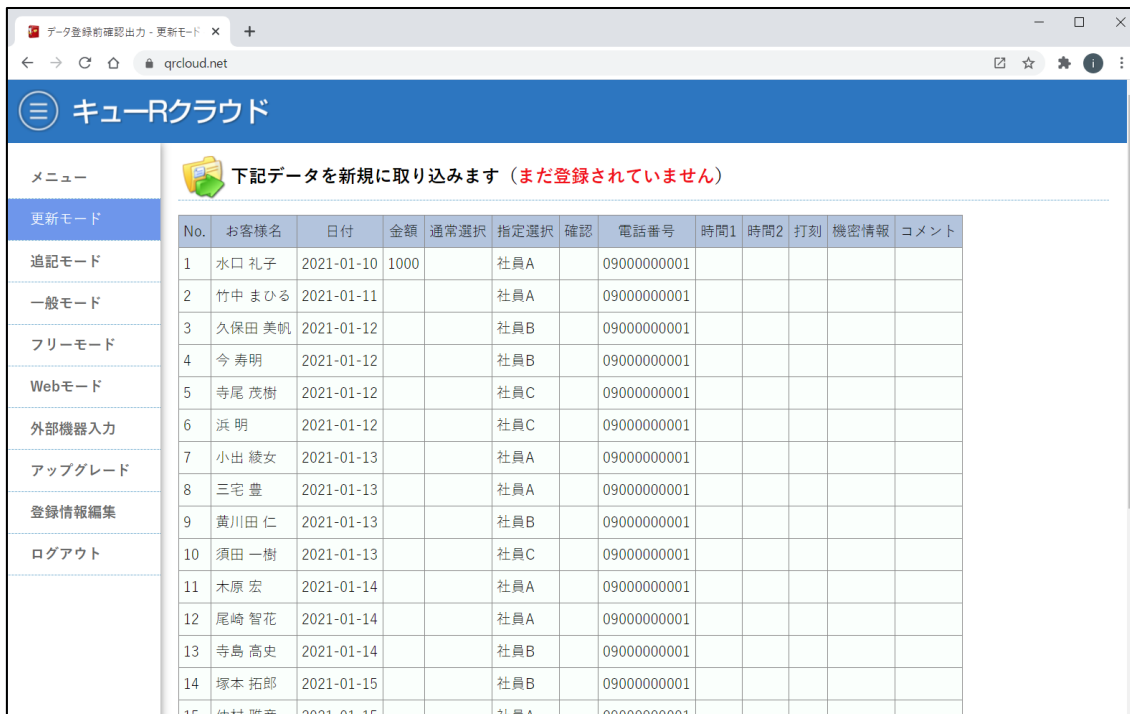


図4 取り込み前確認画面

ファイル選択して「取込」ボタンを押すと、登録前の確認画面が表示されます。

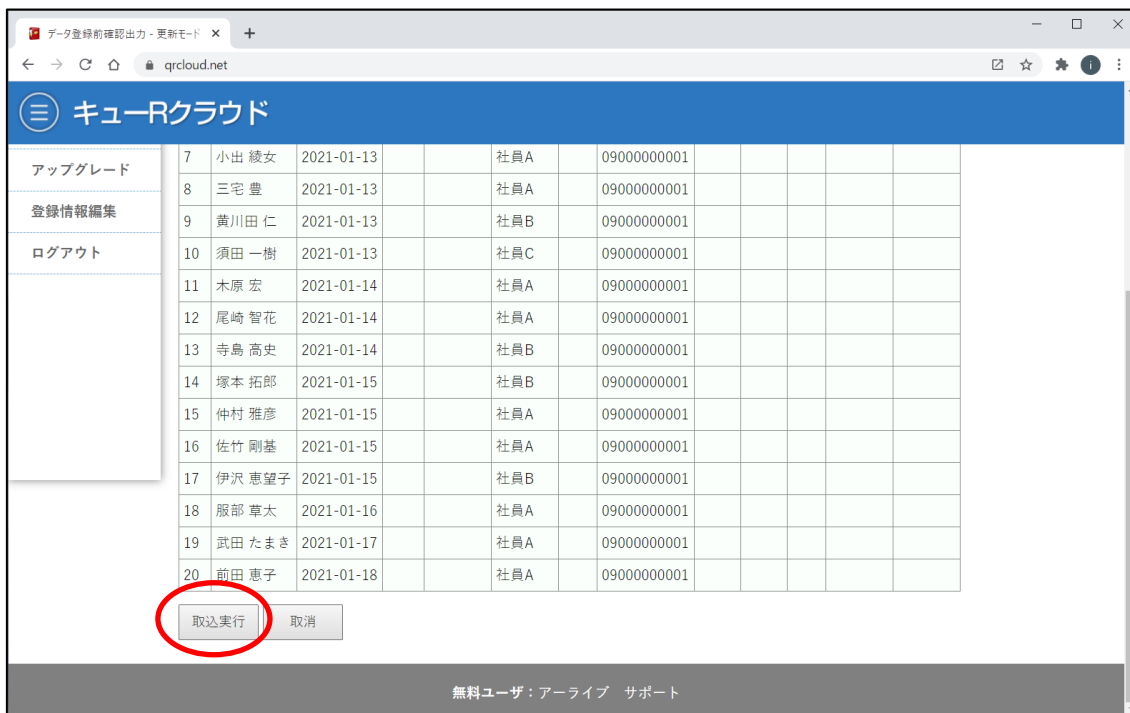


図5 取り込みボタン

一番下までスクロールし、取り込みたいデータが正しければ、「取込実行」ボタンを押します。データ数が多い場合は取り込み完了まで少し時間がかかります。

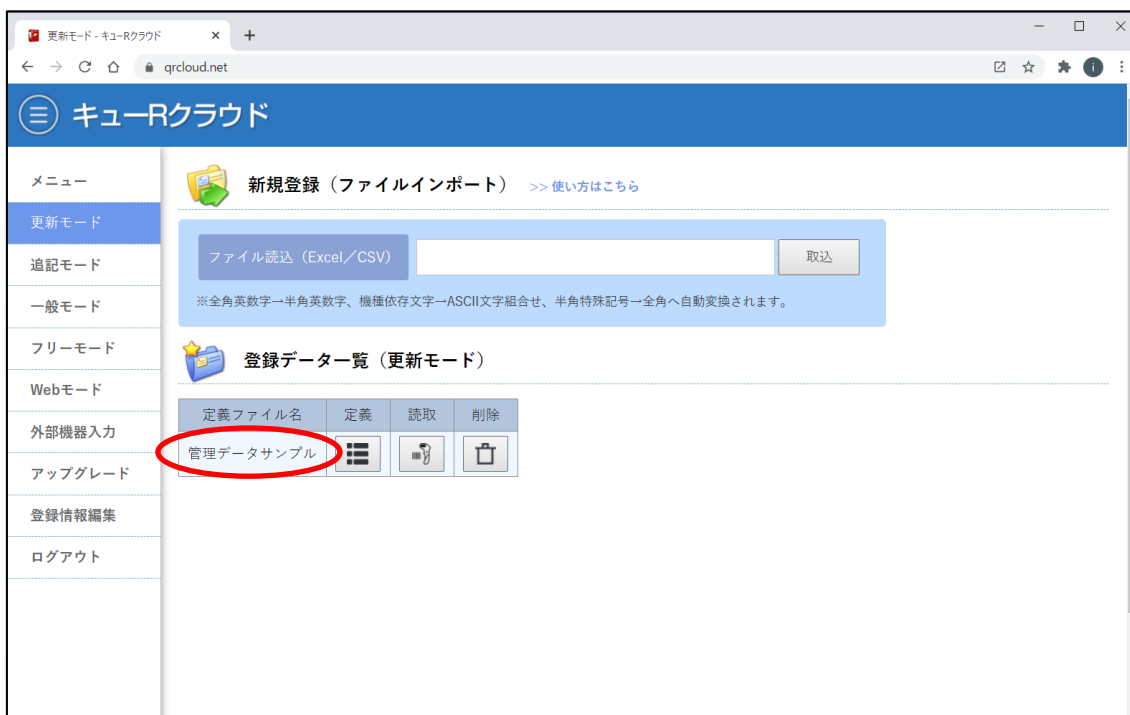


図6 取り込み完了画面

取り込みが成功すると、ファイル名が「定義ファイル名」となり、画面にリスト表示されます。複数の定義ファイルをアップロードすることができます。無料プランでは 5 ファイルまで、スタンダードプランでは 100 ファイルまでアップロードできます。

お客様名	日付	金額	通常選択	指定選択	確認	電話番号	時間1	時間2	打刻	機密情報
水口 礼子	2021-01-10	1000		社員A		09000000001				
竹中 まひる	2021-01-11			社員A		09000000001				
久保田 美帆	2021-01-12			社員B		09000000001				
今 寿明	2021-01-12			社員B		09000000001				
寺尾 茂樹	2021-01-12			社員C		09000000001				
浜 明	2021-01-12			社員C		09000000001				
小出 綾女	2021-01-13			社員A		09000000001				
三宅 豊	2021-01-13			社員A		09000000001				
黄川田 仁	2021-01-13			社員B		09000000001				
須田 一樹	2021-01-13			社員C		09000000001				

図7 定義リスト一覧表示

定義ファイルの詳細ボタンを押すとデータの中身が表示されます。1行目が要素（ヘッダ）名となり、2行目以降がデータとして記録されているのを確認します。

## 6. サイドバーの表示切り替え



図8 サイドバー表示



図9 サイドバー非表示

左上の画像をクリックするとサイドバーの表示と非表示の切り替えができます。



## 7. 定義データの操作（基本編）

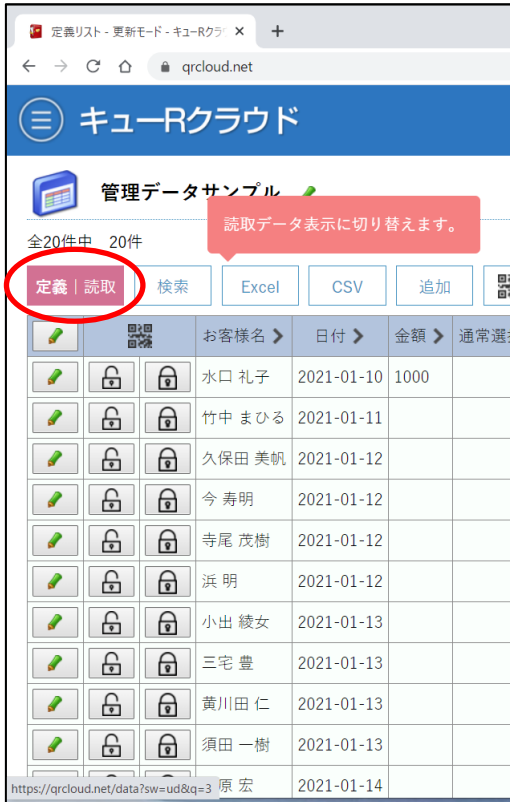


図 10 定義リスト表示



図 11 読取結果表示

「定義 | 読取」ボタンを押すと、定義リスト表示と読取結果表示の切り替えができます。必要に応じて表示画面を切り替えます。一度アップロードした定義ファイルと同一名称のファイルをアップロードすると追記することができます。ただし、先にアップロードした定義リストと全く同じヘッダ配列でなければエラーとなります。



図 12 定義ファイルの削除

定義ファイルはいつでも削除できます。ただし、発行済 QR コードがある場合は、再び同じファイル名でアップロードしても全件無効化されます。削除は慎重にお願いします。

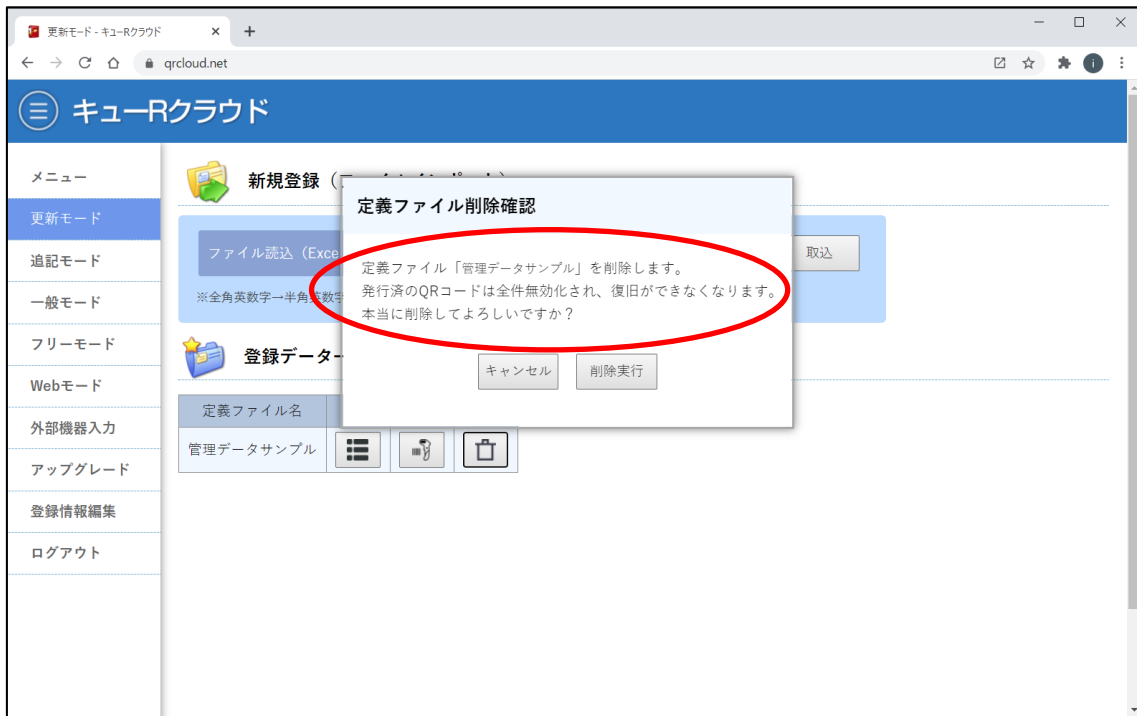


図 13 定義ファイル削除は慎重に



図 14 定義ファイル名の編集

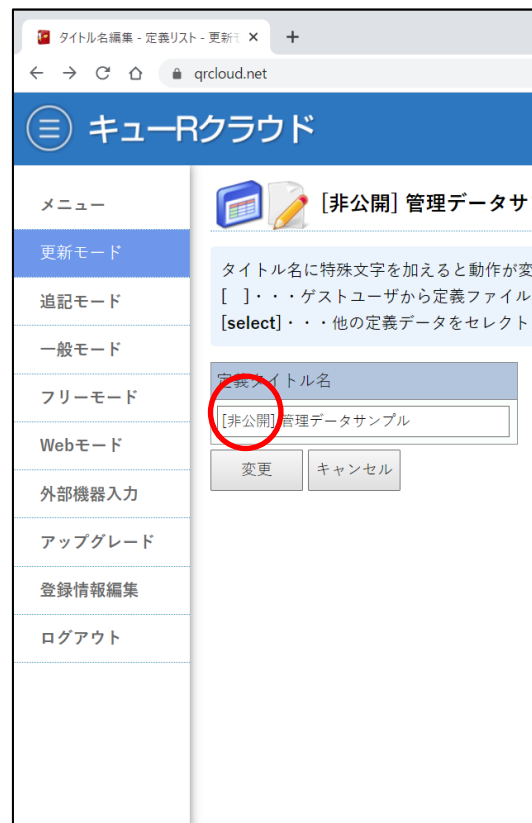


図 15 番定義ファイル名の編集も可

定義ファイル名を変更することもできます。[非公開]と追記するとゲストユーザからは定義ファイルの存在を隠蔽することができます。

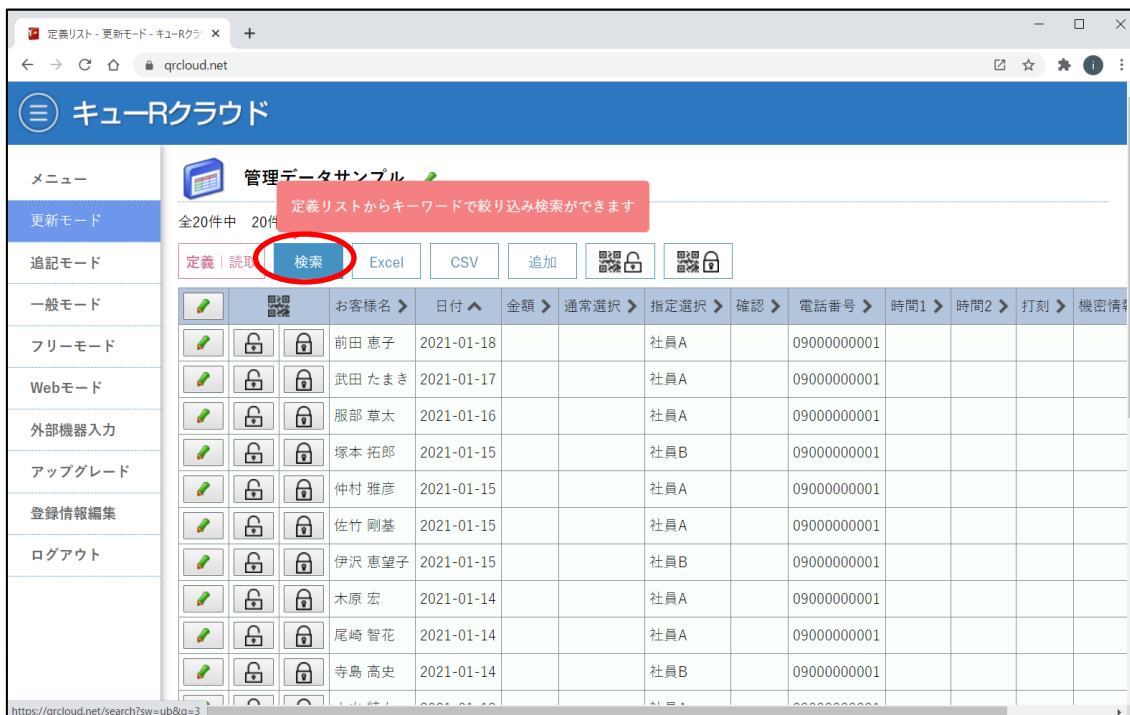


図 14 データ検索アイコン

リスト上にある「検索」を押すと、データの検索ができます。



図 15 検索画面

絞り込みたいデータを入力して検索すると該当データが絞り込むことができます。検索パラメータはこちらから変更できます。

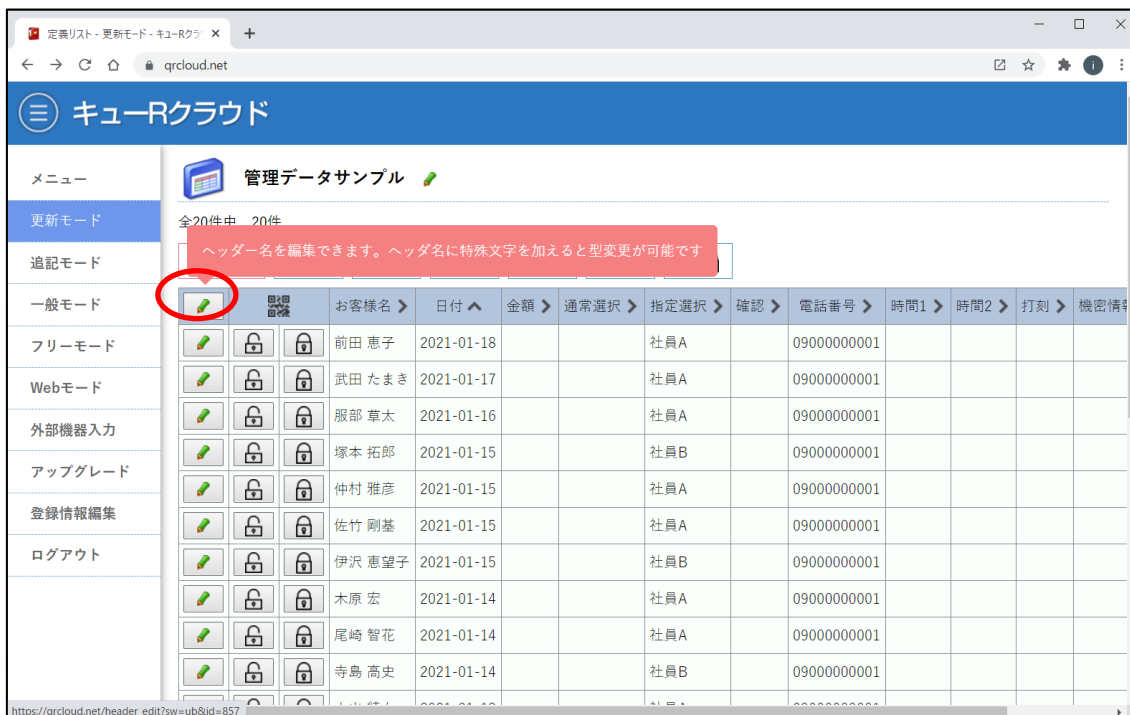


図 16 ヘッダ名の編集

ヘッダ列の鉛筆アイコンをクリックすると、要素名（ヘッダ名）の編集ができます。



図 17 ヘッダ名の編集画面

ヘッダ名の編集は、単に文字列の修正だけでなく、要素列を追加したり、削除したりすることができます。ただし追加と削除は最終列のみ可能で、中間の要素列だけを削除することはできません。また並べ替えもできません。

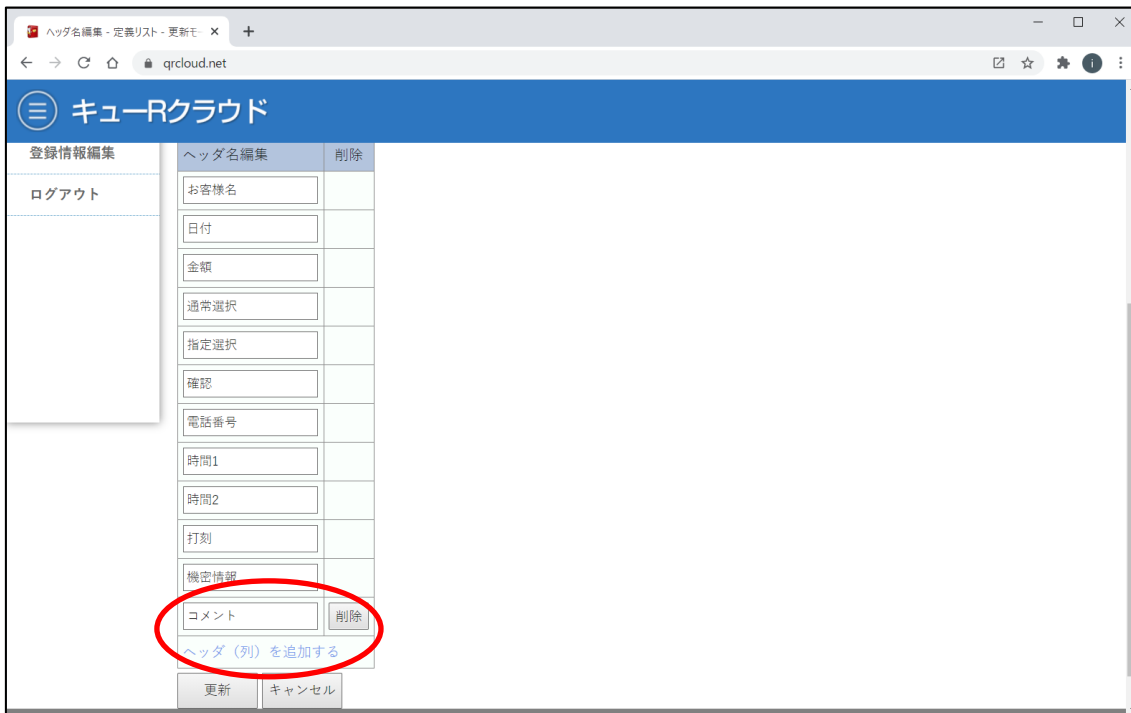


図 18 ヘッダ名の追加と削除

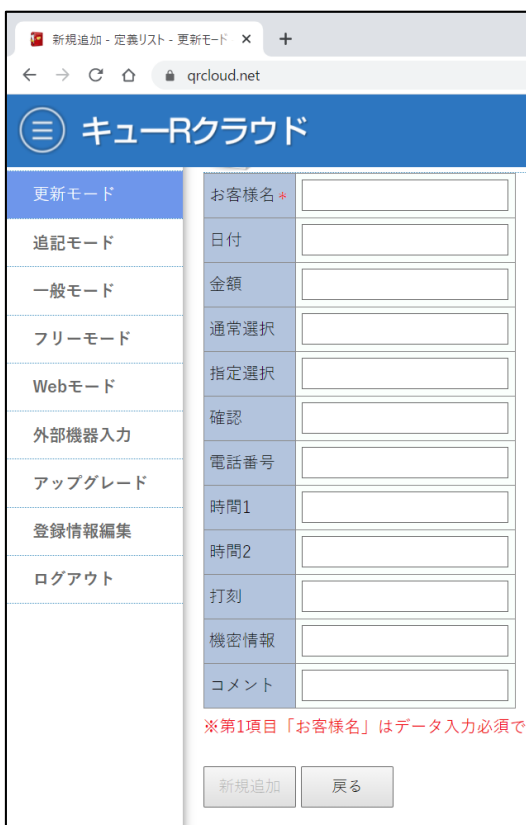


図 19 データの追加登録



図 20 一番目は入力必須

定義データは、ファイルアップロードした後から単発で追加登録することができます。追加登録する条件として、少なくとも 1 番目の要素データは入力が必要です。



図 21 データの編集

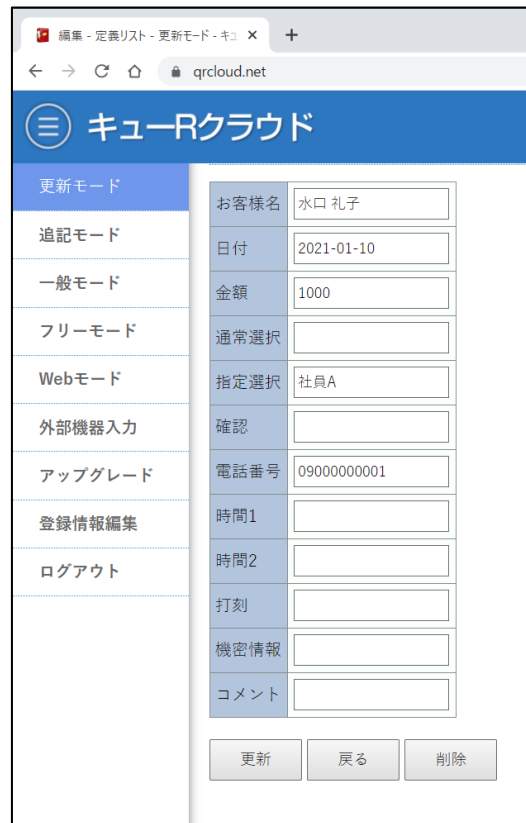


図 22 データ編集画面

データ列の鉛筆アイコンをクリックするとデータの編集ができます。

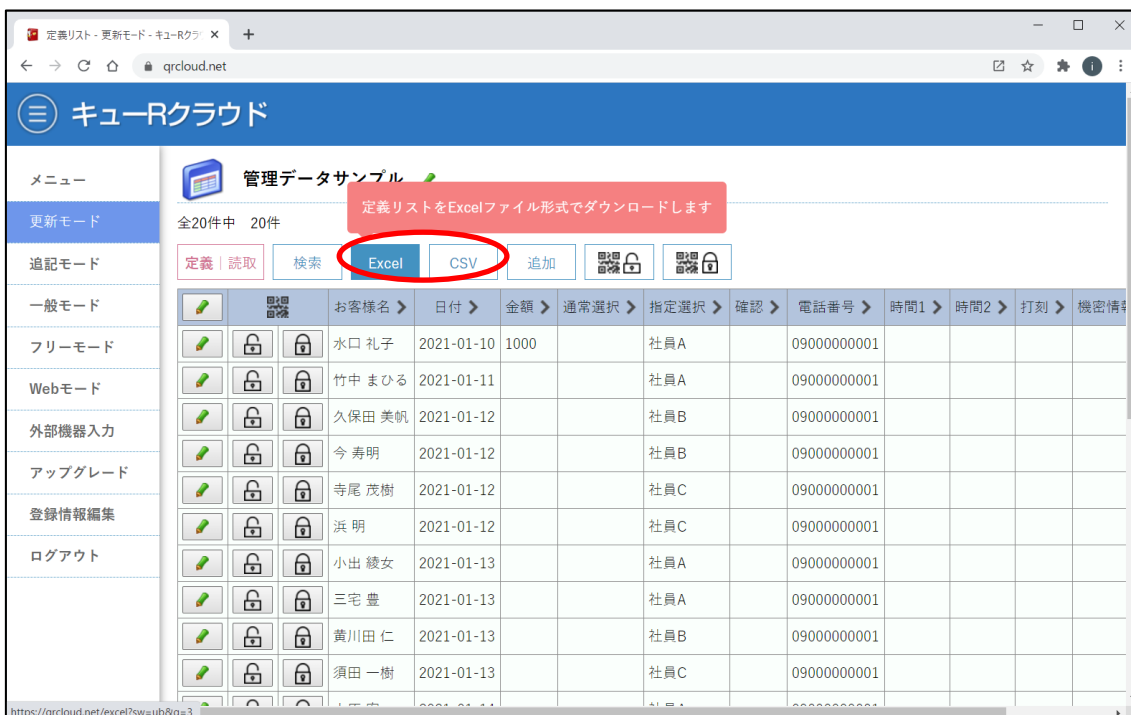


図 23 データのファイルダウンロード

定義データ及び読み込みデータはいつでもファイルダウンロードができます。Excel ファイル、及び CSV ファイルどちらにも対応しています。

## 8. 定義データの操作（応用編）

ヘッダ名に特殊文字を加えるとデータの型を変更することができます。

ヘッダ名編集

ヘッダ名編集	削除
お客様名*	
日付[d]	
金額[i]	
通常選択[s]	
指定選択[s]	
確認[c]	
電話番号[t]	
時間1[ts]	
時間2[ts]	
打刻[tp]	
機密情報[#]	
コメント[m]	削除

ヘッダ (列) を追加する

更新 キャンセル

図 24 ヘッダ名の編集

定義リスト - 更新モード - キュークラウド

全20件中 20件

定義 | 読取 | 検索 | Excel | CSV | 追加

	お客様名*	日付[d]	金額[i]	通常
	水口 礼子	2021-01-10	1000	
	竹中 まひる	2021-01-11		
	久保田 美帆	2021-01-12		
	今 寿明	2021-01-12		
	寺尾 茂樹	2021-01-12		
	浜 明	2021-01-12		
	小出 綾女	2021-01-13		
	三宅 豊	2021-01-13		
	黄川田 仁	2021-01-13		
	須田 一樹	2021-01-13		

図 25 ヘッダ名変更後

お客様名\*

水口 礼子

日付[d]

2021-01-10

金額[i]

1000

通常選択[s]

指定選択[s]

確認[c]

電話番号[t]

09000000001

時間1[ts]

時間2[ts]

打刻[tp]

機密情報[#]

コメント[m]

更新 戻る 削除

図 26 数字型は[i]

お客様名\*

水口 礼子

日付[d]

2021-01-10

金額[i]

1000

通常選択[s]

指定選択[s]

確認[c]

電話番号[t]

09000000001

時間1[ts]

時間2[ts]

打刻[tp]

機密情報[#]

コメント[m]

更新 戻る 削除

図 27 電話番号は[t]

編集 - 定義リスト - 更新モード - キュ × +

qrcloud.net

キューRクラウド

お客様名\* 水口 礼子

日付[d] 2021-01-10

金額[i] 1000

通常選択[s] ▼

指定選択[s] ▼

確認[c]

電話番号[t] 09000000001

時間1[ts]

時間2[tg]

打刻[tp]

機密情報[#]

コメント[m]

更新 戻る 削除

図 28 チェックボックスは[c]

編集 - 定義リスト - 更新モード - キュ × +

qrcloud.net

キューRクラウド

お客様名\* 水口 礼子

日付[d] 2021-01-10

金額[i] 1000

通常選択[s] ▼

指定選択[s] ▼

確認[c]

電話番号[t] 09000000001

時間1[ts]

時間2[tg]

打刻[tp]

機密情報[#]

コメント[m]

更新 戻る 削除

図 29 選択メニューは[s]

編集 - 定義リスト - 更新モード - キュ × +

qrcloud.net

キューRクラウド

お客様名\* 水口 礼子

日付[d] 2021-01-10

金額[i]

通常選択[s] ▼

指定選択[s] ▼

確認[c]

電話番号[t] 09000000001

時間1[ts]

時間2[tg]

打刻[tp]

機密情報[#]

コメント[m]

更新 戻る 削除

図 30 日付カレンダーは[d]

編集 - 定義リスト - 更新モード - キュ × +

qrcloud.net

キューRクラウド

お客様名\* 水口 礼子

日付[d] 2021-01-10

金額[i] 1000

通常選択[s] ▼

指定選択[s] ▼

確認[c]

電話番号[t] 09000000001

時間1[tg]

時間2[ts] --:-- ▼

打刻[tp]

機密情報[#]

コメント[m]

更新 戻る 削除

図 31 改行フォームは[m]





図 30 時刻 30 分ステップは[ts]



図 31 時刻ゲージは[tg]または[tp]

日付カレンダー[d]にすると、カレンダーによる日付情報の入力することができます。日付フォーマットは「0000-00-00」となります。ハイフンではなくスラッシュにしても入力すると自動的にハイフンになりますのでご注意ください。

時刻ゲージは 2 種類[tg]と[tp]ですが、[tp]はゲストユーザ時の振る舞いが異なります。詳しくはゲストユーザの項目をご覧ください。

名前	更新日時	種類	サイズ
[select] 指定選択.xlsx	2021/01/15 23:33	Microsoft Excel ワ...	7 KB
QRコード読み取りログ取得.xlsx	2021/01/14 15:07	Microsoft Excel ワ...	10 KB
イベント出欠管理.xlsx	2021/01/15 9:25	Microsoft Excel ワ...	11 KB
フリーアドレス座席利用管理.xlsx	2021/01/14 15:21	Microsoft Excel ワ...	9 KB
ロッカーキー貸し出し管理.xlsx	2021/01/14 15:15	Microsoft Excel ワ...	10 KB
管理データサンプル.xlsx	2021/01/15 19:51	Microsoft Excel ワ...	11 KB
修理訪問進捗管理.xlsx	2021/01/15 18:20	Microsoft Excel ワ...	12 KB
電子チケット管理.xlsx	2021/01/15 9:35	Microsoft Excel ワ...	11 KB

図 32 選択メニューをオリジナル文字列にする方法

セレクトメニュー[s]は、デフォルト状態だと「○」「▲」「×」の 3 種類の選択メニューとなります。これをオリジナルの文字列による選択メニューに変更することもできます。

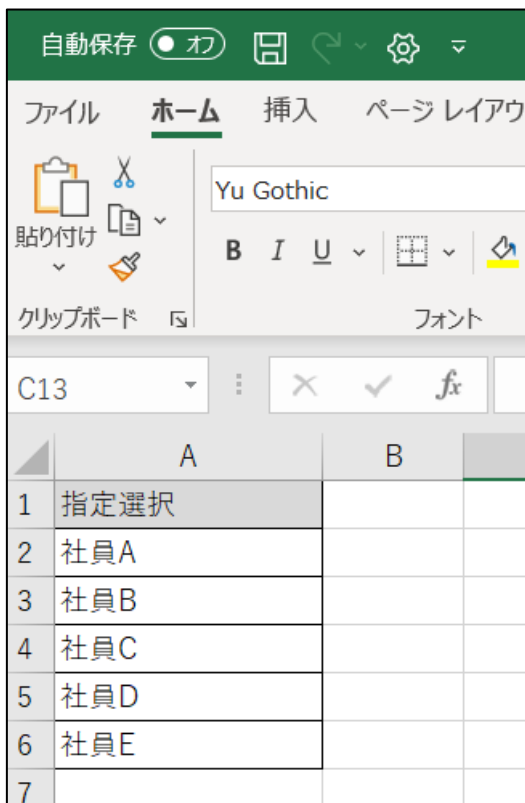


図 33 セレクトメニューの準備



図 34 定義ファイルにて登録

<手順 1>

定義ファイル名をヘッダ名と同一の名称に[select]と追記したファイル名を準備します。ただし[s]は省略できます。

例えば、セレクトメニューとしたいヘッダ名が **指定選択[s]** だった場合、定義ファイル名は **[select]指定選択.xlsx** とします。

<手順 2>

A1 セルはファイル名と同一として、2 列目以降にセレクトメニューで表示させたい文字列を記載します。

<手順 3>

作成した定義ファイルを、同じモード上にアップロードします。

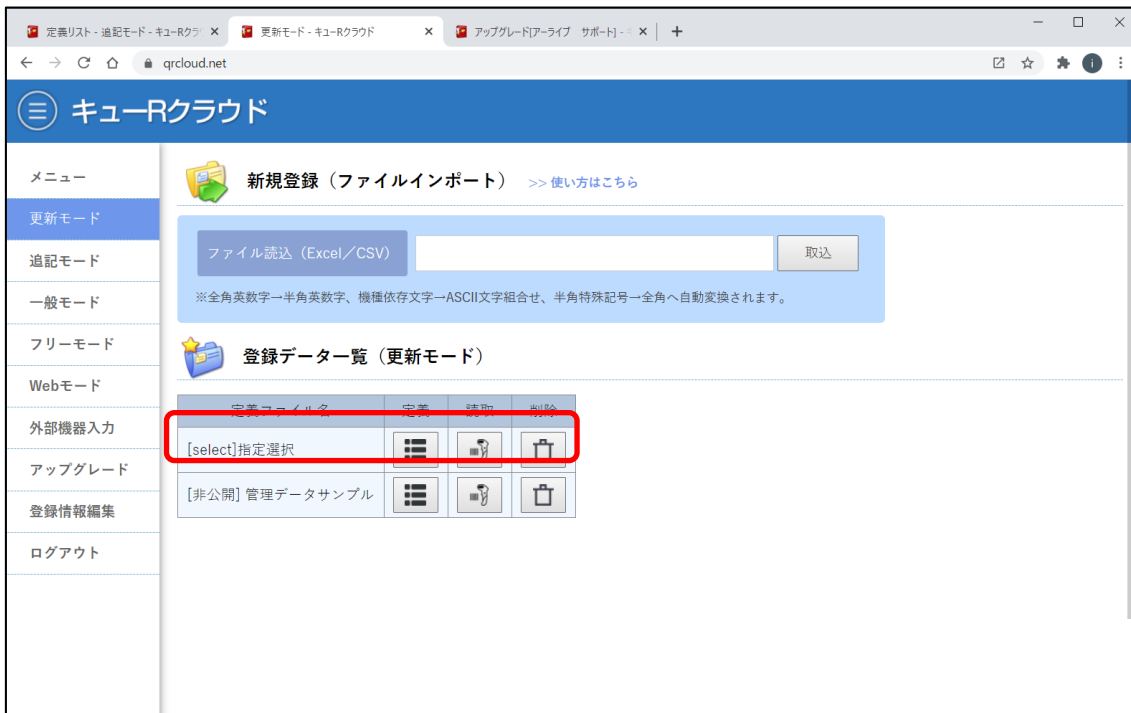


図 35 オリジナル文字列のセレクトメニュー登録の定義リスト

これにより、定義リスト「[非公開]管理データサンプル」にあるヘッダ名「指定選択[s]」の選択メニューが、オリジナルの選択メニューに変更されるようになります。

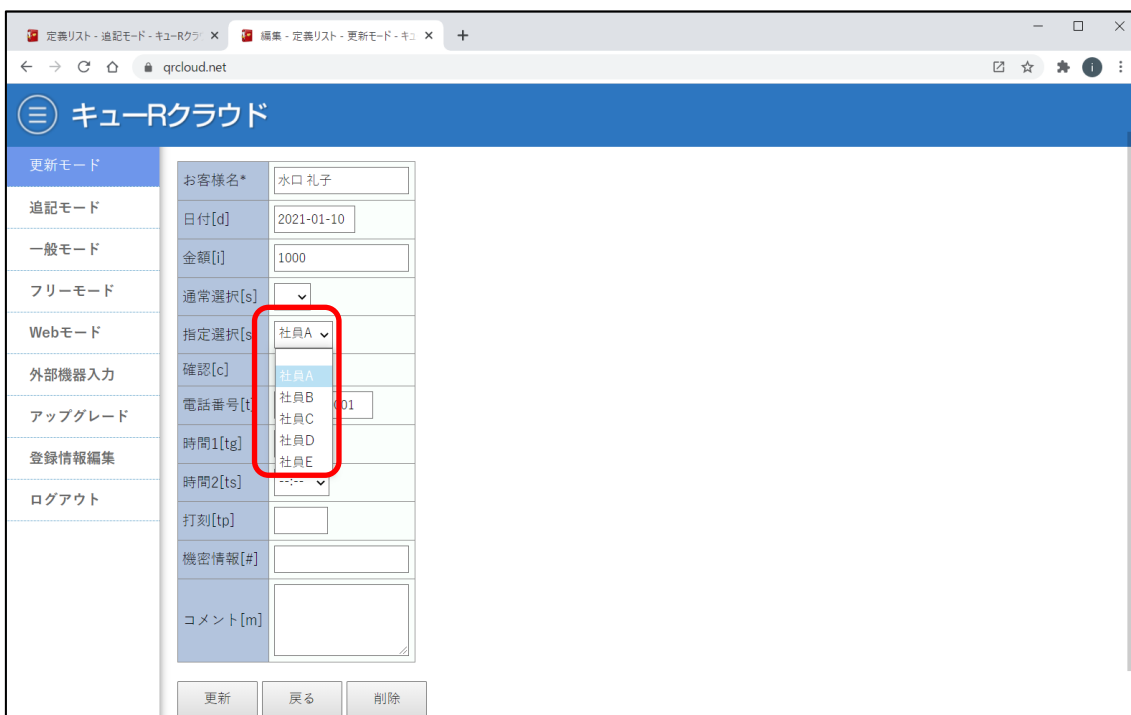


図 36 選択メニューの文字列が反映

定義ファイル[select]指定選択のデータ文字列が表示されるようになりました。

## 9. QRコードの発行

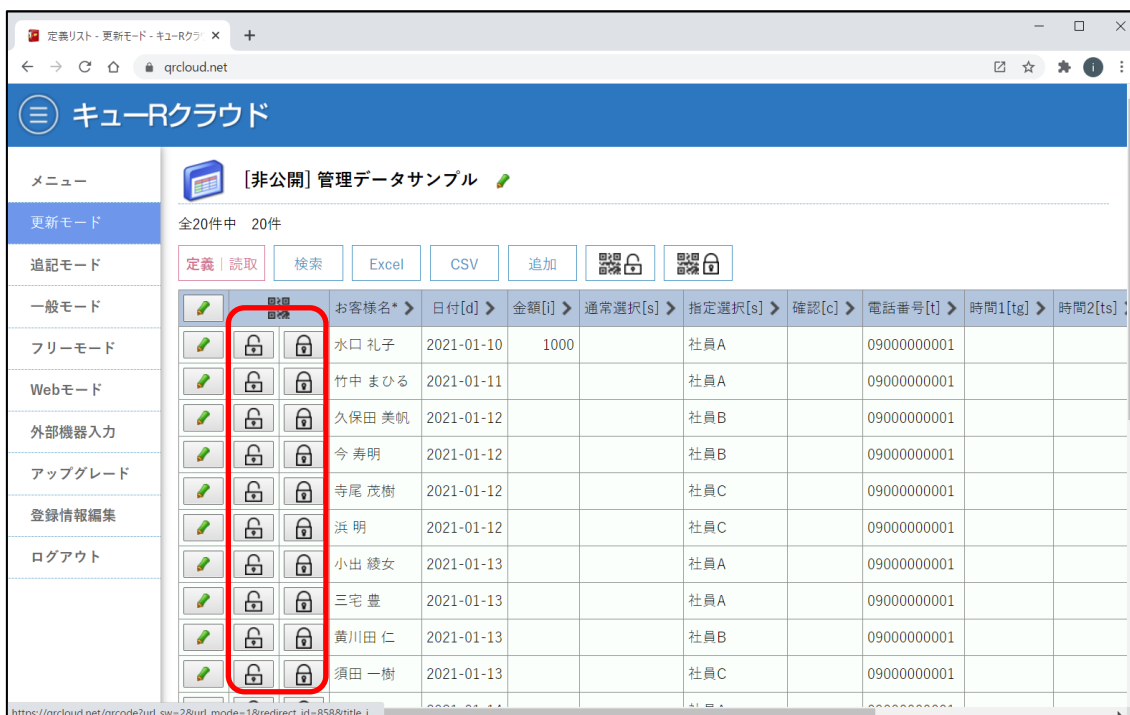


図 37 QRコード発行ボタン

QRコードには「パブリックモード（鍵開アイコン：左）」と「セキュアモード（鍵閉アイコン：右）」の2種類あります。



図 38 パブリックモードのQRコード

パブリックモードのQRコードは、誰でも自由にスマートフォンから読み取ることができるモードです。



図 38 セキュアモードの QR コード

セキュアモードの QR コードは、予めキュークラウドにログインしなければ、読み取ることができないセキュリティ機能を有した QR コードです。



図 39 QR コードの A4 印刷

「A4用紙印刷」ボタンを押すと、必要なデータ情報と合わせて QR コードを表示されます。QR コードがどんな内容かわかるような印刷画面となります。

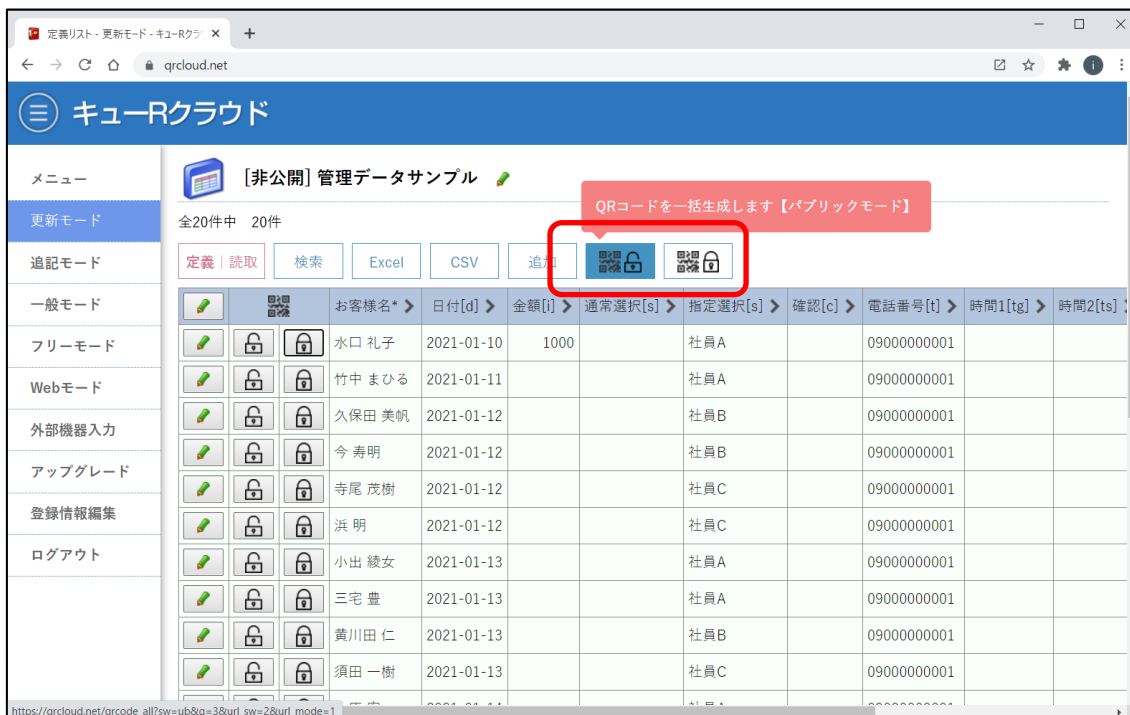


図 40 一括 QR コードリンクボタン

リスト上段にあるアイコンボタンは定義リストに表示されているデータ分まとめて QR コードを生成することができます。(左：パブリックモード、右：セキュアモード)



図 41 QR コード一括生成画面

「png ダウンロード 1」「png ダウンロード 2」「印刷プレビュー」のいずれから一括生成できます。ただし一度に生成できる上限数は 1000 個までです。1000 以上の場合は事前にデータ検索して 1000 個以下にしてから一括生成ボタンを押してください。

## 10. QRコードの読み取り（スマートフォン）

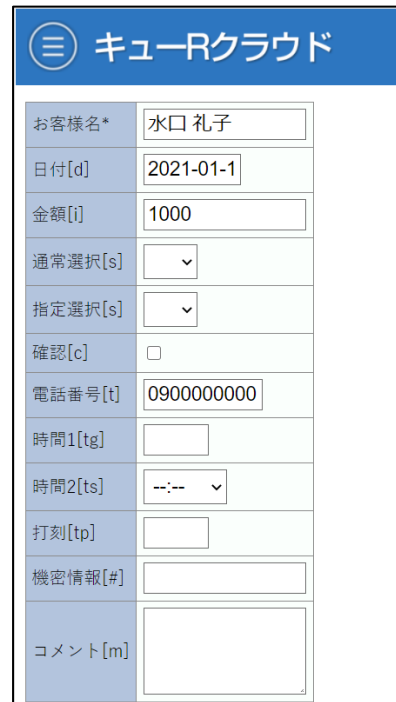
QRコードの読み取りは、スマートフォン向けに配布されている一般向けのQRコードリーダーアプリが利用できます。

キューRクラウドで生成するQRコードは https:から始まる URL で構成されています。一般アプリで読み取ったら、そのまま Web ブラウザからアクセスを行うと、QRコードの読み取り記録が実行されます。



キューRクラウド	
お客様名*	水口 礼子
日付[d]	2021-01-10
金額[i]	1000
通常選択[s]	
指定選択[s]	社員A
確認[c]	
電話番号[t]	09000000001
時間1[tg]	
時間2[ts]	
打刻[tp]	
機密情報[#]	
コメント[m]	
読取回数	1
読取時刻	2021-01-15 23:12:48
読取者	アライブ サポート

図 42 QR読み取り直後の画面



メニュー キューRクラウド	
お客様名*	水口 礼子
日付[d]	2021-01-1
金額[i]	1000
通常選択[s]	▼
指定選択[s]	▼
確認[c]	<input type="checkbox"/>
電話番号[t]	09000000000
時間1[tg]	
時間2[ts]	--:-- ▼
打刻[tp]	
機密情報[#]	
コメント[m]	

図 43 セキュアモードは編集も可

パブリックモードのQRコードを読み取ると、読み取ったデータの内容とともに読み取り時刻も記録されます。予めキューRクラウドにログインした状態で読み取りを行うと、ログイン者情報も記録されます。

セキュアモードのQRコードの場合は、必ず事前にログインしてから読み取りを行います。ログインしない状態でセキュアモードのQRコードを読み取ってもログイン画面に誘導されます。

セキュアモードのQRコードを読み取った場合は、読み取った画面にある編集ボタンを押すことで、該当データをその場で編集することもできます。

セキュアモードのQRコードの場合、ログインしない状態で読み取られた場合、ログイン画面ではなく、他のWebサイトに転送することも可能です。詳しくは27ページ「外部Web転送とログ収集」の項目をご覧ください。

## 11. 読取データの操作

「非公開」管理データサンプル  
定義リスト表示に切り替えます。

定義 読取 検索 Excel CSV WebAPI リセット

編集	読取時刻	回	記録者	お客様名*	日付[d]	金額[i]	通常選択[s]	指定選択[s]	確認[c]	電話
	2021-01-15 23:15:37	2	アーライブ サポート	水口 礼子	2021-01-10	1000		社員A		0900
	-----	0		竹中 まひる	2021-01-11			社員A		0900
	-----	0		久保田 美帆	2021-01-12			社員B		0900
	-----	0		今 寿明	2021-01-12			社員B		0900
	-----	0		寺尾 茂樹	2021-01-12			社員C		0900
	-----	0		浜 明	2021-01-12			社員C		0900
	-----	0		小出 綾女	2021-01-13			社員A		0900
	-----	0		三宅 豊	2021-01-13			社員A		0900
	-----	0		黄川田 仁	2021-01-13			社員B		0900
	-----	0		須田 一樹	2021-01-13			社員C		0900
	-----	0		木原 宏	2021-01-14			社員A		0900

図 44 読み取りデータの確認（更新モード）

読み取ったデータは、定義リストから読み取り画面に切り替えれば、いつでも確認できます。更新モードでは読み取り回数と最終読み取り時刻が記録されます。

「非公開」管理データサンプル  
全20件中 20件（読取数 2回）  
読取データを全消去します

定義 読取 検索 Excel CSV WebAPI リセット

編集	読取時刻	回	記録者	お客様名*	日付[d]	金額[i]	通常選択[s]	指定選択[s]	確認[c]	電話
	2021-01-15 23:15:37	2	アーライブ サポート	水口 礼子	2021-01-10	1000		社員A		0900
	-----	0		竹中 まひる	2021-01-11			社員A		0900
	-----	0		久保田 美帆	2021-01-12			社員B		0900
	-----	0		今 寿明	2021-01-12			社員B		0900
	-----	0		寺尾 茂樹	2021-01-12			社員C		0900
	-----	0		浜 明	2021-01-12			社員C		0900
	-----	0		小出 綾女	2021-01-13			社員A		0900
	-----	0		三宅 豊	2021-01-13			社員A		0900
	-----	0		黄川田 仁	2021-01-13			社員B		0900
	-----	0		須田 一樹	2021-01-13			社員C		0900
	-----	0		木原 宏	2021-01-14			社員A		0900

図 45 読み取りデータリセット

読み取りデータをまとめてリセット（消去）することができます。読み取りデータのみ消去されます。（定義ファイルは消えません）



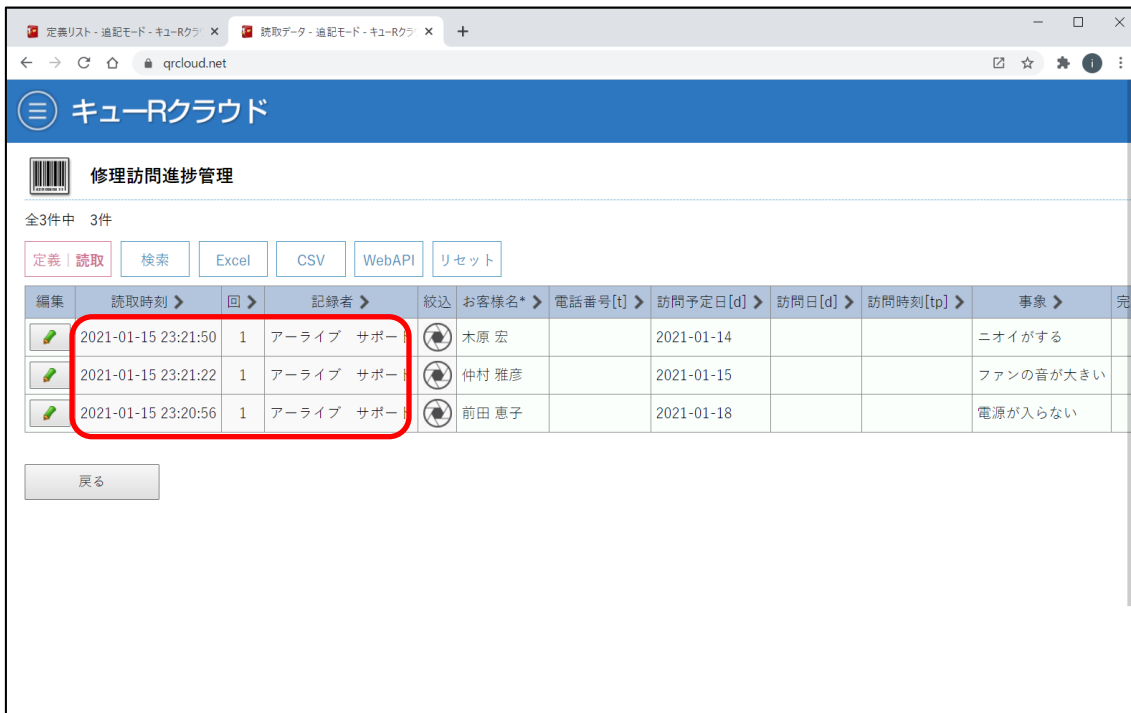


図 46 読み取りデータの確認（追記モード）

追記モードでは読み取ったデータが追記されます。読み取ったデータ全件記録する場合は追記モードを利用します。いつ、誰が、どの QR コードを読み取ったかがわかります。

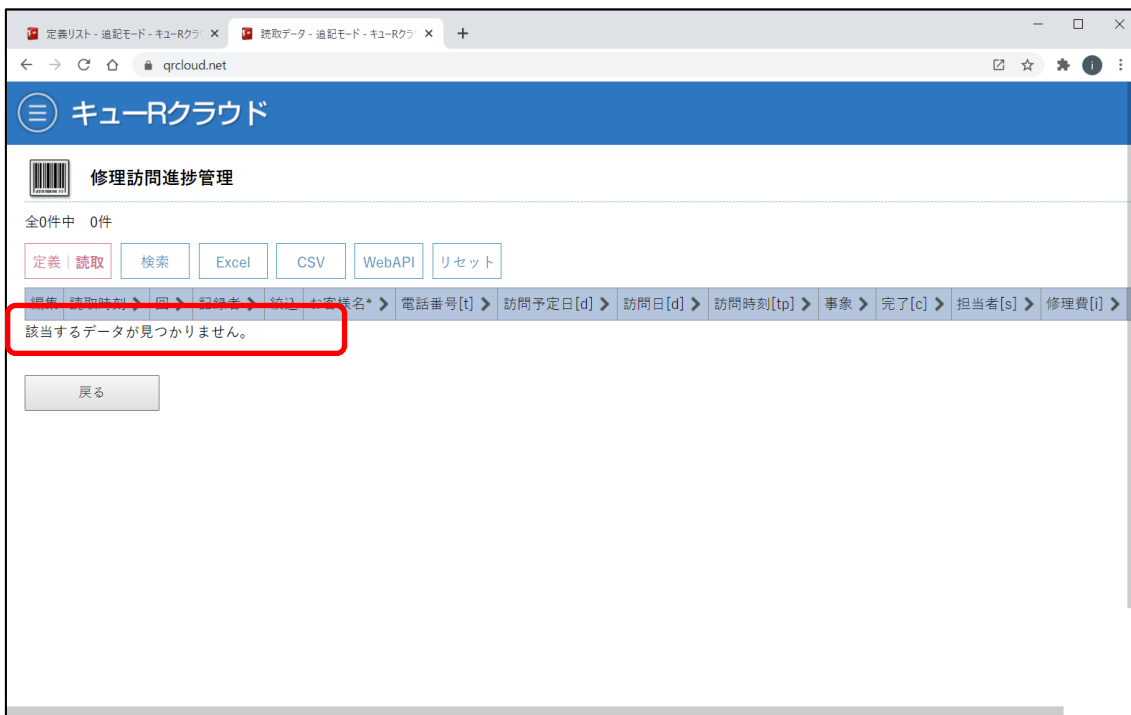


図 46 読み取りデータリセット後（追記モード）

追記モードも読み取りデータをリセットすることができます。こちらも読み取り記録のみ消去されます。定義リストは消去されません。

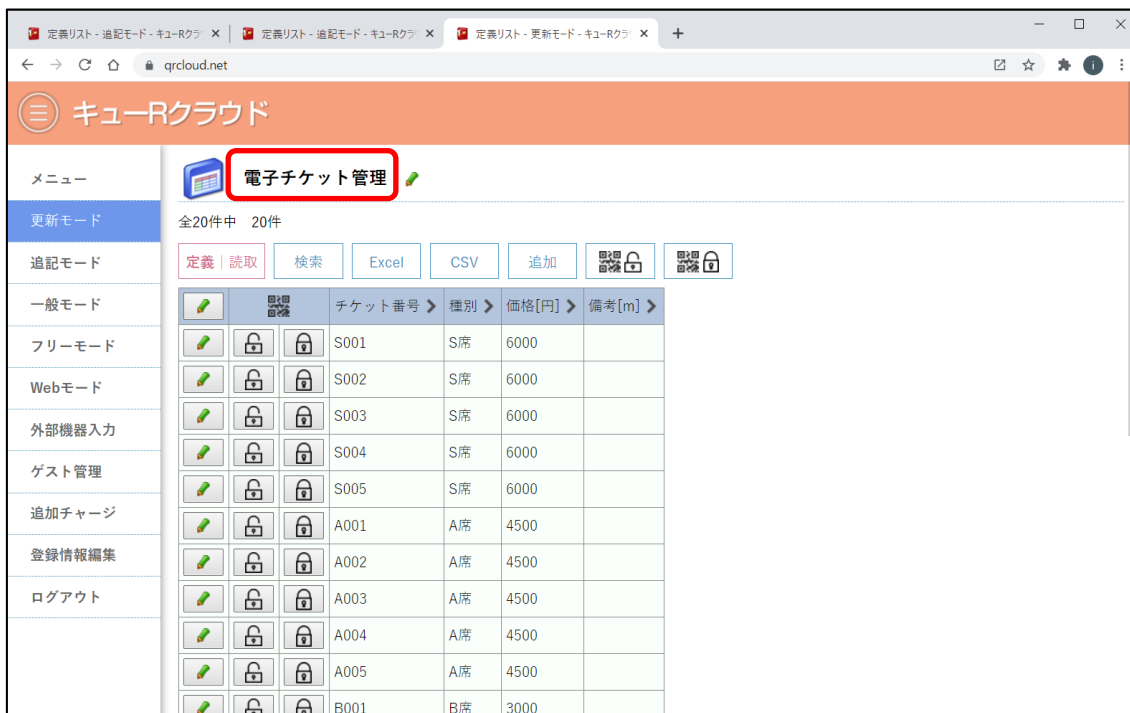


図 47 二重読み込み防止機能（更新モード）

定義ファイル名に「チケット」「クーポン」「券」「限定」の文字を含めると、QR コードの二重読み込みを防止することができます。**更新モードのみ**動作します。

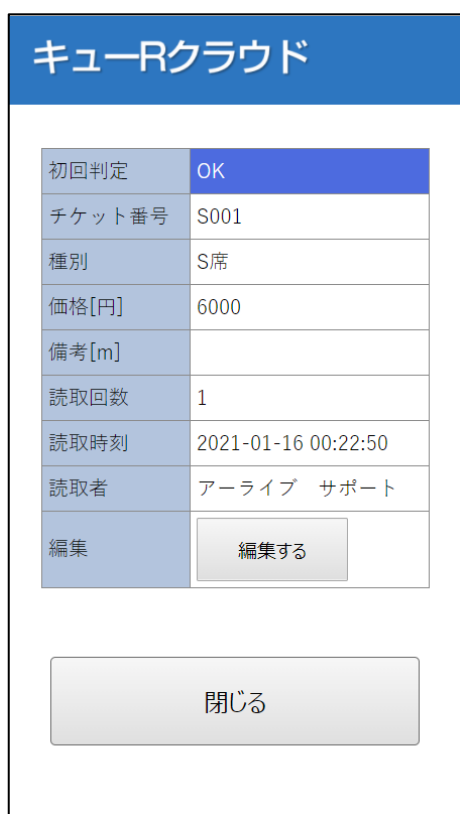


図 47 QR 読み取り（1 回目）

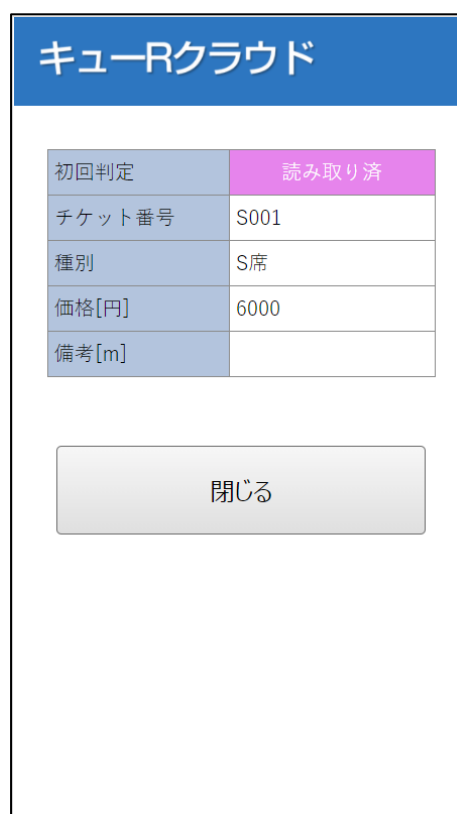


図 48 QR 読み取り（2 回目）

電子チケット向けで発行した QR コードを不正防止するための機能です。上記ワードが含まれない定義リストの場合は通常どおり読み込み回数が上書き保存されます。

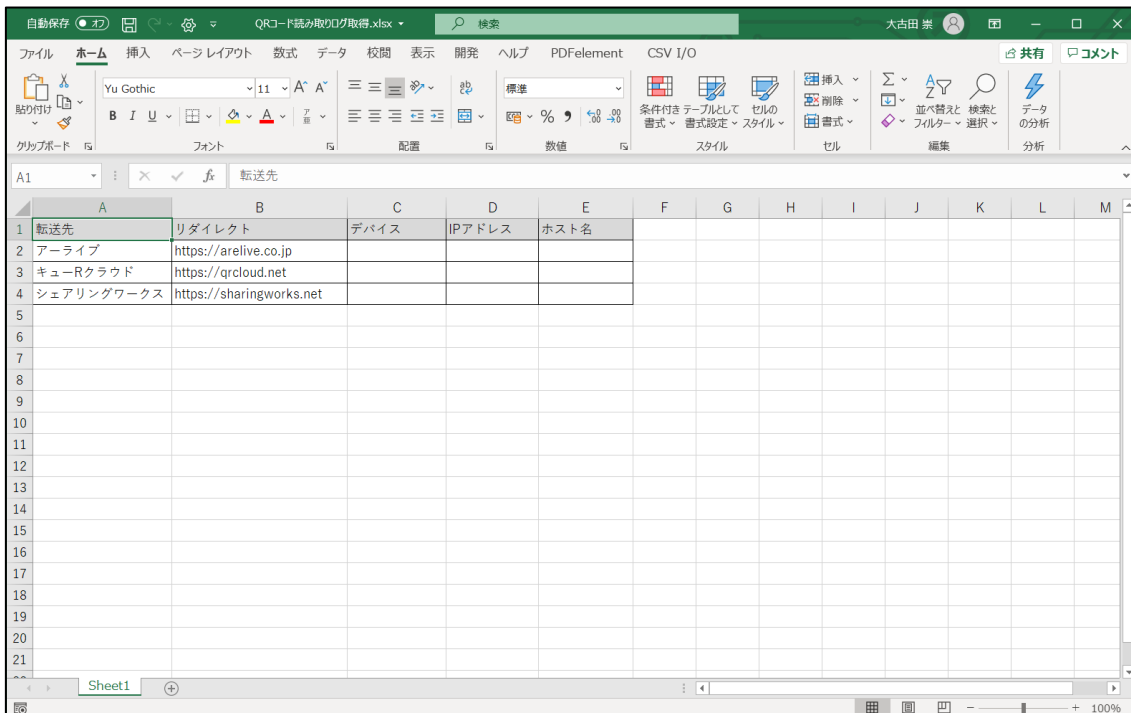


図 49 外部 Web 転送とログ収集用定義ファイル

定義ファイルのヘッダ名に「リダイレクト」とし、データに URL を記述すると、該当 QR コードを読み込むと該当 URL にリダイレクトされることができます。追記モードでのみ動作します。



図 49 リダイレクト用定義ファイル取り込み画面

同様にヘッダ名に「デバイス」「IP アドレス」「ホスト名」と記載するとログデータも収集できます。更に「メールアドレス」とヘッダ名に記載し、データに受信可能なメールアドレスを記述すると、リダイレクトのたびにシステムからメール送信もできます。

また、セキュアモードの QR コードをログインせずに読み込まれた場合もリダイレクト転送させることができます。ログイン画面以外の Web サイト表示したい場合に設定します。

## 12. ゲストユーザ管理（有料プラン）

スタンダードプラン以上にはゲストユーザ機能を利用することができます。ゲストユーザは契約者ユーザ以外の方にセキュアモードの QR コードを読んでもらったり、データ編集してもらったりすることができる機能です。ゲストユーザ機能を使えば、誰がいつ何をしたのかの記録が可能になります。

契約者ユーザとゲストユーザと操作可能な範囲が異なります。管理要素の高い操作はゲストユーザからは操作することはできません。

表 2 ゲストユーザの操作権限一覧

操作内容	契約者権限	ゲストユーザ
定義ファイルのアップロード	○	×
定義ファイルの削除	○	×
定義ファイル名の変更	○	×
定義リストの表示（通常）	○	○
定義リストの表示（【】の文字が含まれる）	○	×
ヘッダ名の編集	○	×
セキュアモードの QR コード読み取り	○	○
データの削除	○	×
データの表示（通常）	○	○
データの表示（[#]が含まれる）	○	×
データの追加	○	○
データの更新（通常）	○	○
データの更新（*が含まれる）	○	×
データの更新（[tp]が含まれる）	○	×
ゲストユーザの追加・削除・編集	○	×
自分のパスワード変更	○	○
アカウント有効期限	○	契約者と連動

スタンダードプランでは 100 アカウントまで、プレミアムプランは無制限でゲストユーザを追加できます。ゲストユーザアカウントは、他の契約者が設定した使用済文字列が使用できませんのでご注意ください。

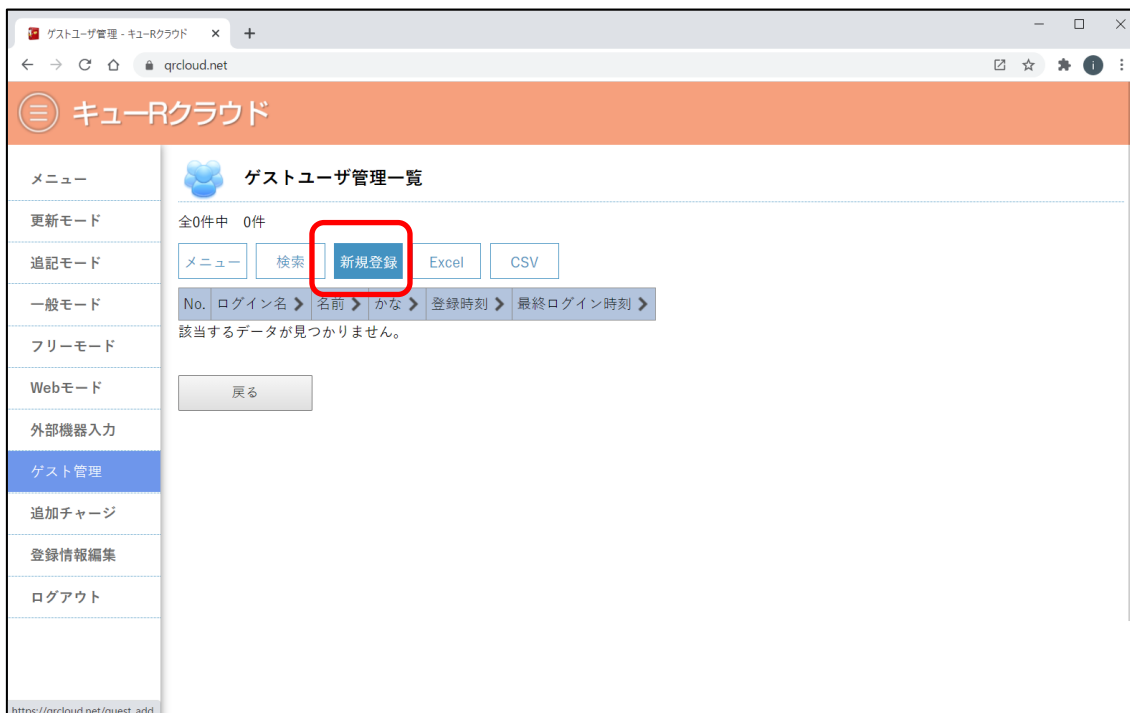


図 50 ゲストユーザ新規登録

ゲストユーザ登録は契約者権限のみ追加することができます。ゲスト管理から新規登録ボタンを押します。

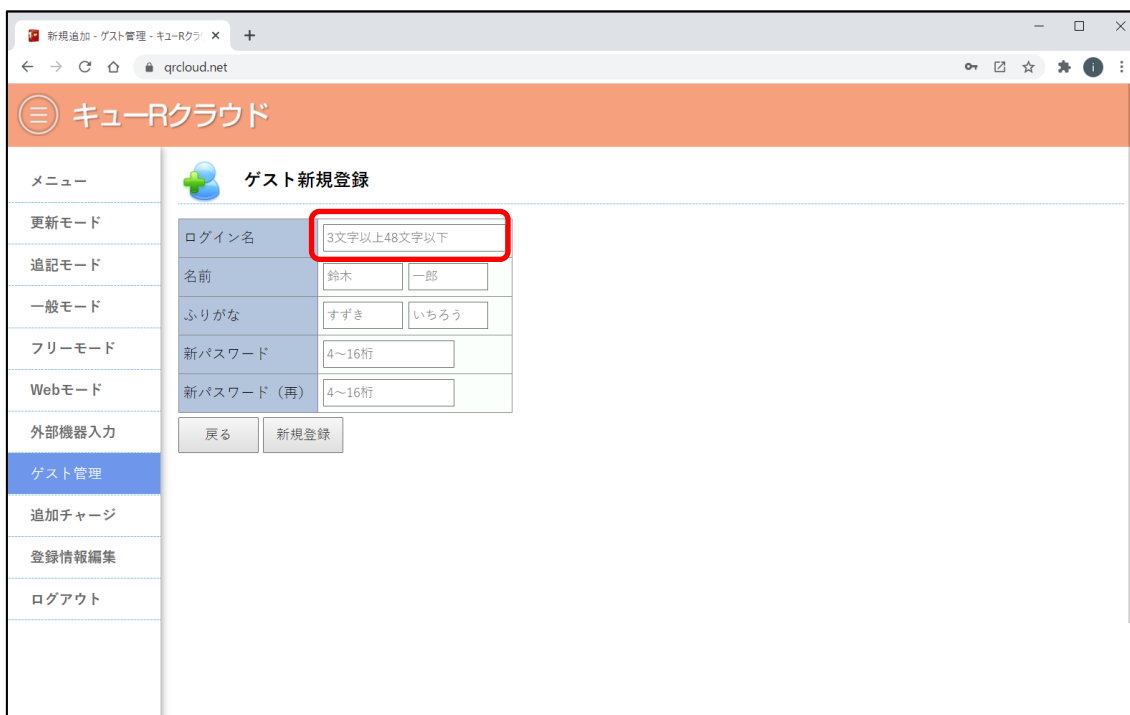


図 51 ゲストユーザ新規登録画面

ログイン名は 4 文字以上 48 文字以下で、他契約者がすでに使用済みの文字列は使用できません。

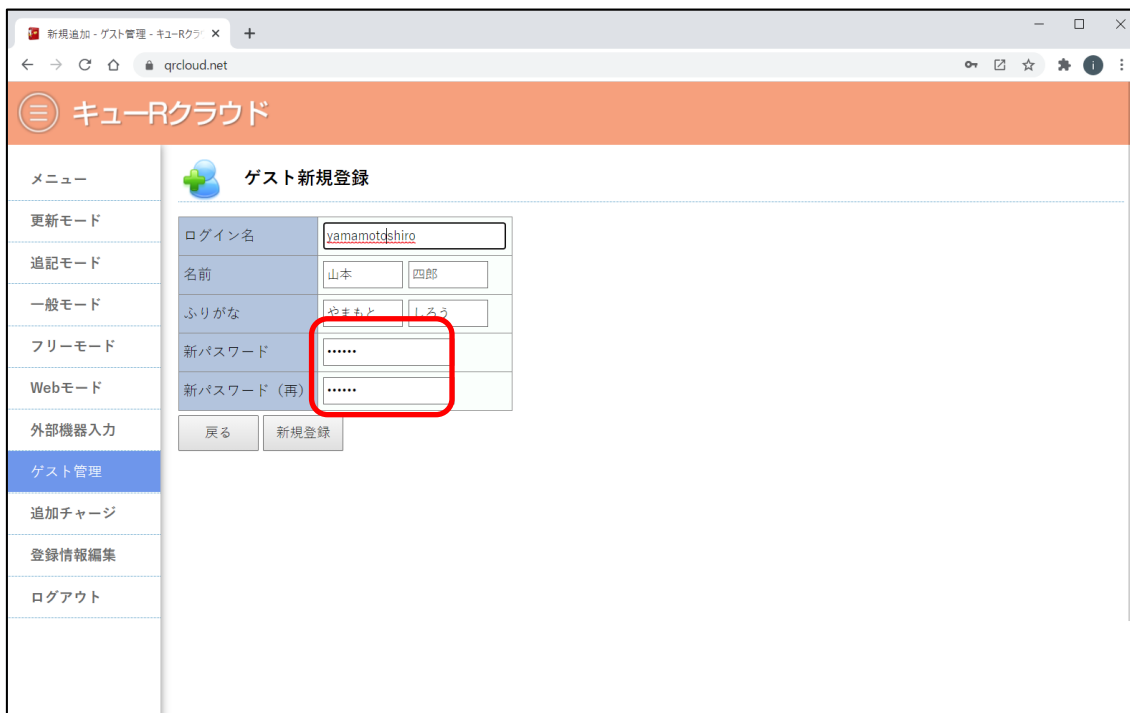


図 52 ゲストユーザ新規登録画面

ゲストユーザがパスワードを忘れた場合は、契約者権限にて新規再設定してください。

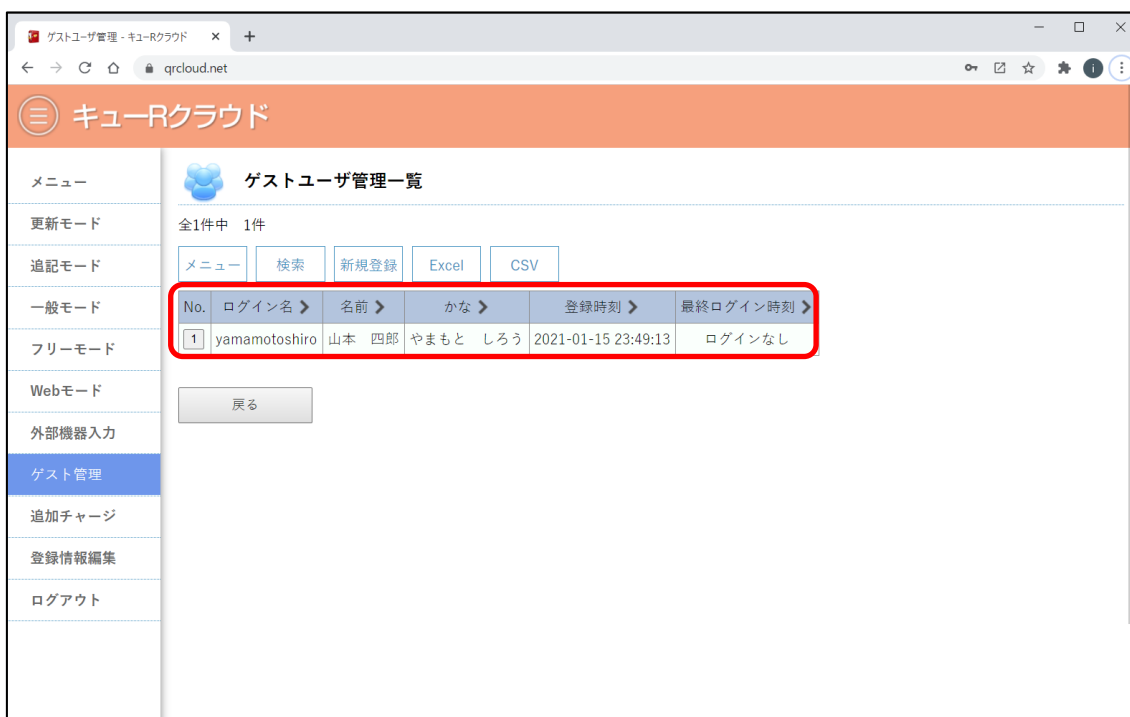


図 53 ゲストユーザ一覧

新規登録が完了すると一覧にて表示されます。ゲストユーザデータも Excel/CSV 形式にてデータダウンロードすることも可能です。



図 54 ゲストユーザーから見たメニュー画面

図 55 契約者ユーザの編集画面

図 56 ゲストユーザの編集画面

ゲストユーザと契約者ユーザでは操作範囲が異なります。表示される画面も異なります。ヘッダ名に特殊文字が含まれることで、ゲストユーザからの操作可能範囲を個別に調整することも可能になります。

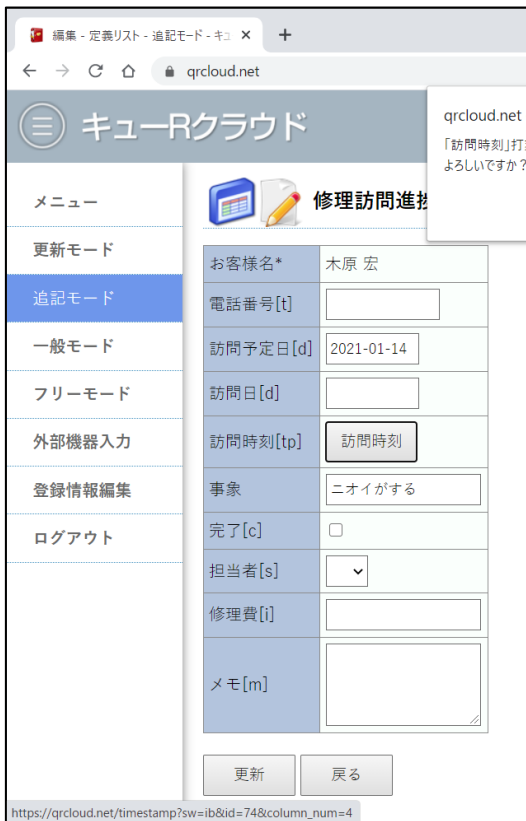


図 57 契約者ユーザの編集画面

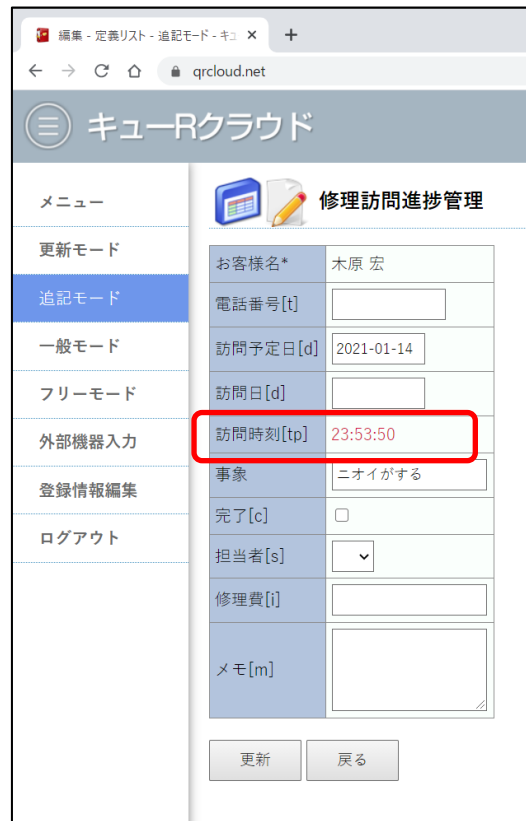


図 58 ゲストユーザの編集画面

ヘッダ名に[tp]を含ませると、ゲストユーザからの編集画面は打刻ボタンとなります。打刻ボタンを押すと、押した時刻が記録されます。一度打刻するとゲストユーザからは編集できません。(契約者ユーザからは編集可)

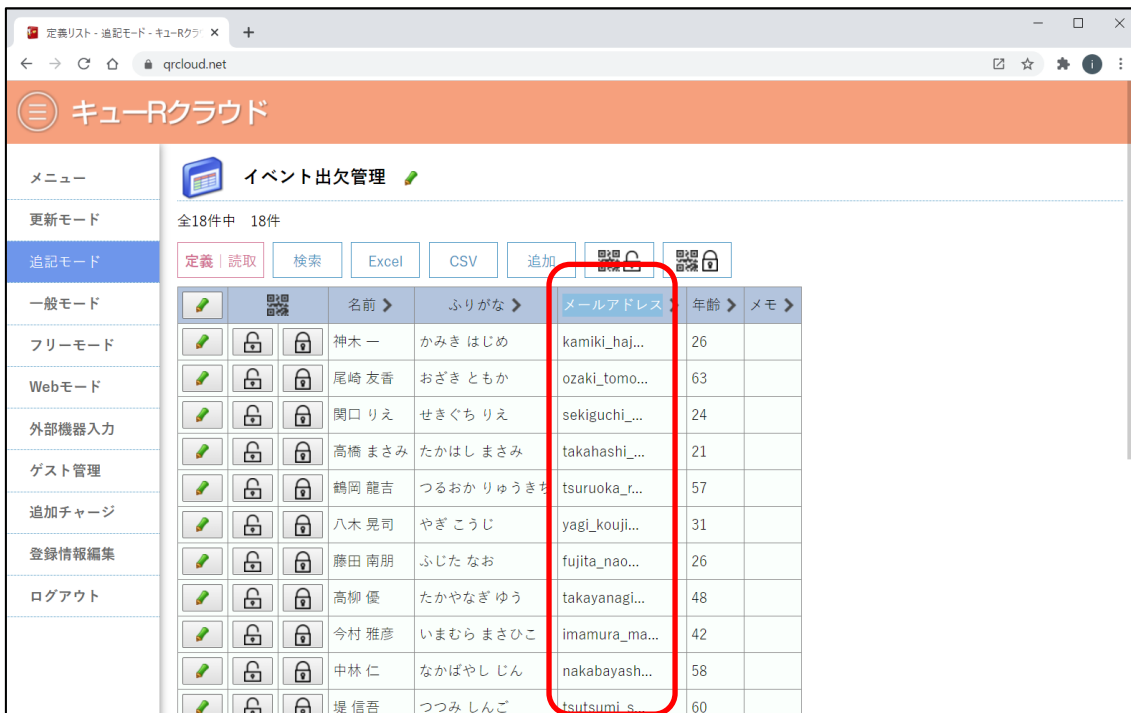


図 59 メールアドレス入力支援機能



データ内にメールアドレスがあると、メール送信機能を使用する場合に、自動的にメールアドレス文字列を入力補填する機能があります。

メール作成 - QRコード情報 - キュークラウド - Google Chrome

qrcloud.net

### イベント出欠管理

宛名 : To	kamiki_hajime@example.com
件名:Subject	QRコード送付 イベント出欠管理
送信者アドレス:From	<input checked="" type="radio"/> qrcloud@arelive.co.jp (デフォルト)
送信者名:From	アライブ サポート

【QRコード全画面表示】  
<https://qrcloud.net/qr?code=fQbMgntC>

【QRコード印刷用】  
[https://qrcloud.net/qrcode\\_print?q=fQbMgntC](https://qrcloud.net/qrcode_print?q=fQbMgntC)

キャンセル      送信

図 60 QRコード表示用 URL のシステムメール送信画面

データ QR コード発行ボタンから、メール送信ボタンを押すと、メール送信用フォームが開きます。メールアドレスが含まれるデータの場合は、自動的にメール送信先アドレスにメールアドレスが入力された状態となり、送信手間を軽減させることができます。

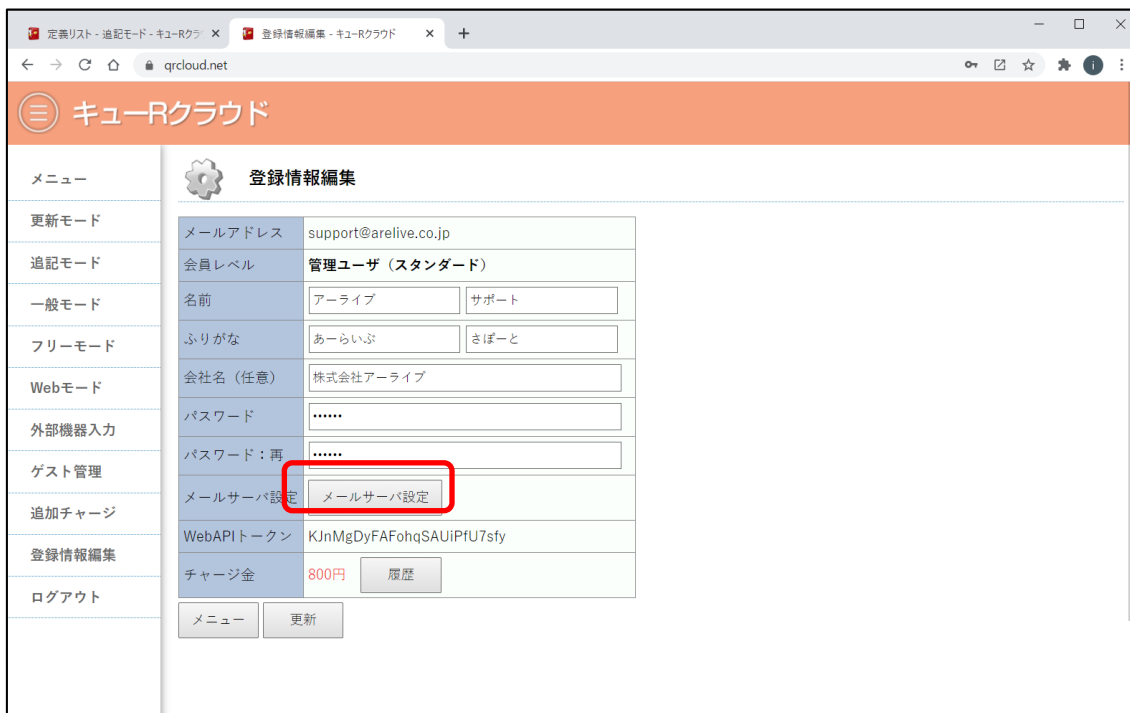


図 61 送信メールサーバ (SMTP) 設定

登録情報編集からメールサーバ設定ができます。キューR クラウドからシステムメールを送信する際に、自前のメールサーバを経由してメール送信することが可能です。

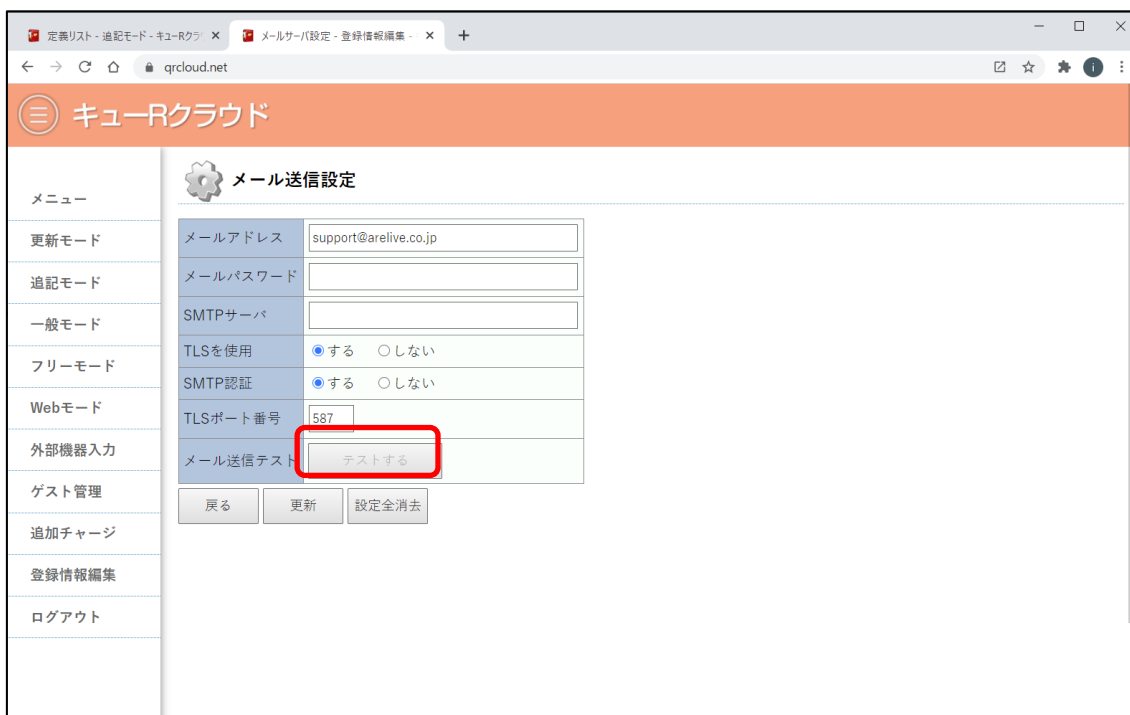


図 61 送信メールサーバ (SMTP) 設定詳細

メールサーバの設定が完了したら、必ずメール送信テストボタンを押して自分宛にメールが受信できるかを確認してください。なお、Gmail でも対応可能ですが、予め Gmail 側のセキュリティ設定の調整が必要になります。

### 13. QRコードの読み取り（バーコードリーダー）

外付けの専用のバーコードリーダーを使ってキューRクラウドを使用することもできます。ご購入されたバーコードリーダーの初期設定で、「日本語キーボード設定」とポストアンブルを「改行/Enter」になるようにしてください。

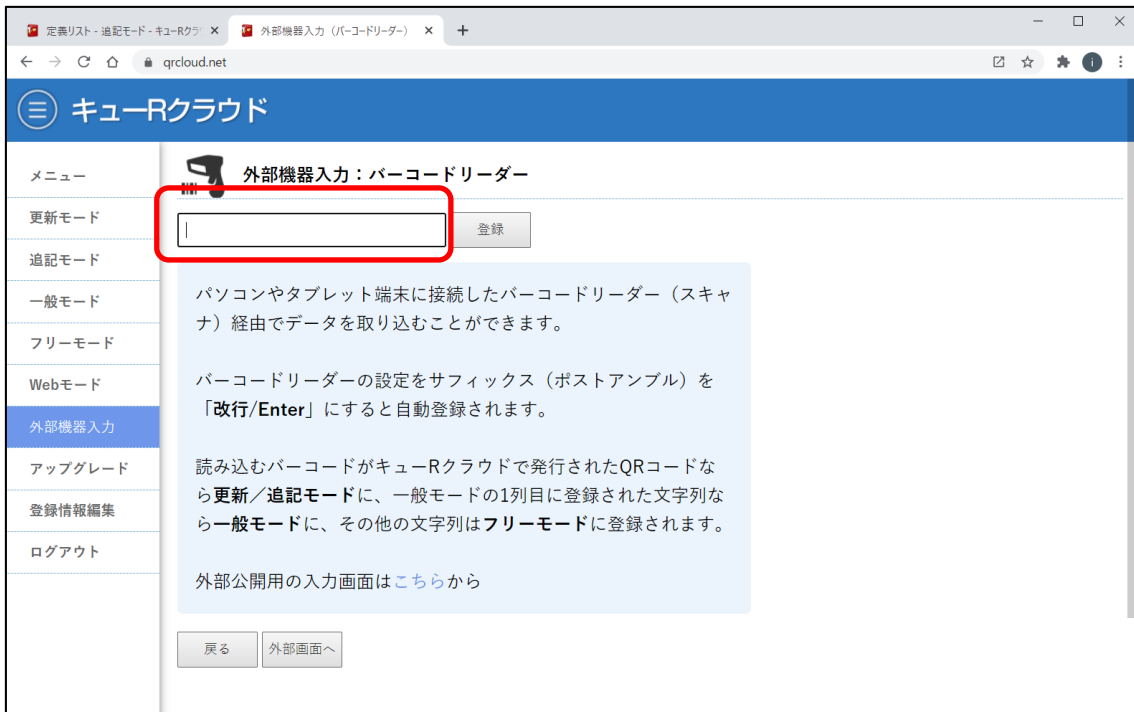


図 62 外部機器入力画面

外部機器入力画面を開き、入力フォームがフォーカスされた状態になっていることを確認してからバーコードを読み取ります。念の為、フォーカスされた状態のキーボード入力が半角入力モード（IME オフ）になっていることを確認してください。フォーカスされていない、または全角入力モードの状態でも正しくキューRクラウド上にデータ認知ができませんのでご注意ください。

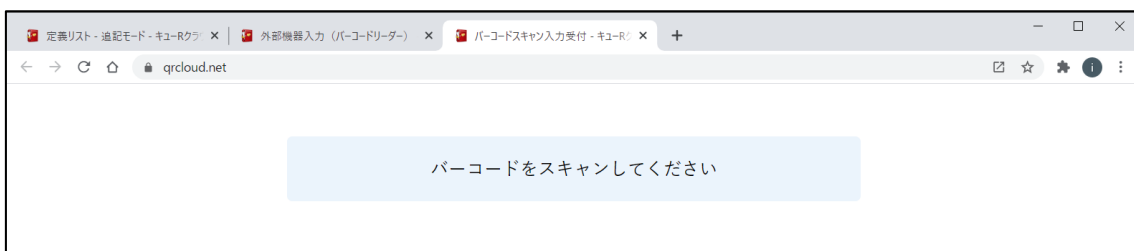


図 63 外部公開用入力画面

据置式のバーコードリーダーを使って、外部に読み取り画面を公開するモードもあります。こちらの画面では QR コードを読み取ってから 5 秒経過すると自動的に次の入力待受へ自動的に画面が戻ります。

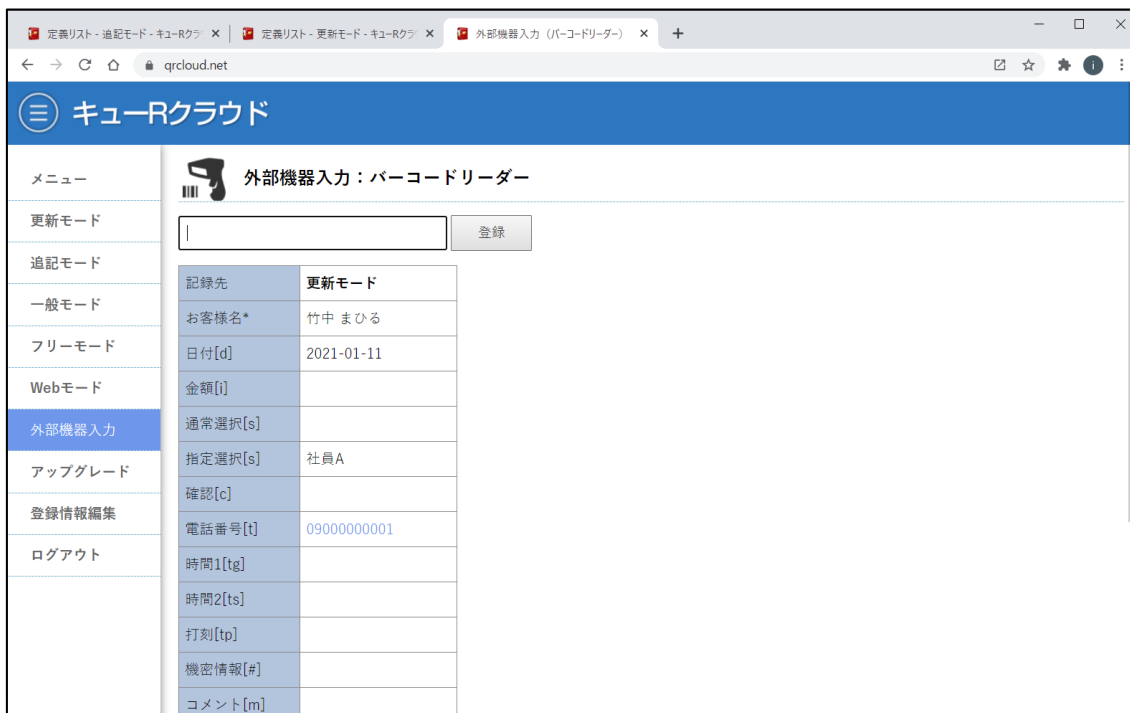


図 64 外付けバーコードリーダーで読み取った後の画面

読み取った画面は、スマートフォンで読み取った画面と原則同じ画面が表示されます。なお、外付けバーコードリーダーモードでは、更新モード及び追記モードで発行した QR コードだけでなく、一般モードやフリーモードによる外部作成された QR コードのデータ読み取りにも対応します。

市販のバーコードのデータや書籍などのバーコードをキューR クラウド経由でデータ管理することも可能になります。

詳しくは、別マニュアル（準備中）をご覧ください。

## 14. その他

本マニュアルは、キューR クラウドで提供するコアサービスである更新モードと追記モードを使った基本操作を説明ですが、それ以外のモードである「一般モード」と「フリーモード」を使ったバーコード管理をはじめ、や WebAPI によるデータ連携や、https リクエスト記録を始めとする IoT 連携機能も利用することができます。

詳しい使い方や、個別カスタマイズのご用命は、Web サイトのお問い合わせからの連絡をお待ちしております。

以上